

未来のまちづくりを共に考える

大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL

冬号(第17号) 2022年12月発行



NARA PREFECTURE

奈良県

巻頭インタビュー

春日大社 宮司 花山院 弘匡 さん

若宮神社から知る、
一度も途絶えることなく続く
春日大社の文化と伝統



春日大社宮司 花山院 弘匡さん

若宮神社から知る、 一度も途絶えることなく 続く春日大社の文化 と伝統

春日大社宮司

か さんのいん ひろただ
花山院 弘匡さん

第43次式年造替を完了した春日大社の摂社「若宮神社」。令和4年10月28日(金)の「正遷座祭」で、修復を終え新しくなった御殿にご祭神の若宮様がお戻りになりました。

今回は、春日大社宮司の花山院弘匡さんか さんのいん ひろただに、若宮神社の式年造替や春日若宮おん祭を通じ、この地に連綿と受け継がれてきた文化と伝統について伺いました。

神山・御蓋山の麓に 鎮座する若宮神社

大宮通りは、奈良の玄関口になつており、現在においては、奈良と日本中、さらには世界中を繋ぐ道として、昔のシルクロードの終着点のように、大変重要な役割を果たしていると思います。

大宮通りからは、神山である御蓋山かきやま・春日山がよく見えますが、これらの山々がなぜ神山であるかには理由があります。まず大切な太陽が上がってきます。生きとし生けるものは太陽の熱と光によって生かされています。そして夜を支配する月も上がってきます。真つ暗な闇を明るく照らす力のある月は、「あまの原ふりさけ見れば 春日なる三笠の山に 出でし月かも」(阿倍仲麻呂)という歌にも詠まれます。そして水源地です。水は命の源であり、水の無い所では生きていけません。その神山である御蓋山の麓に御本社(大宮)と若宮があります。日々、若宮様は皆さまを見守っております。

若宮神社の御造替を 20年に一度に戻した理由

若宮様は、御本社の御子神様です。春日大社では、江戸時代の終わりまで「御本社」とは呼ばず、「大宮」と呼び、「大宮」と「若宮」は、親神様と子神様であり、両方で春日大神様でした。御本社(大宮)の四柱の神々のうち第三殿の天児屋根命(アメノコヤネノミコト)様と第四殿の比売神(ヒメガミ)様との間に平安時代中期にご誕生されたのが若宮様です。

平安時代末期、長雨によって疫病が流行し飢饉が起こったため、若宮様にお救い頂こうと、朝廷の上皇と関白が長承4年(1135年)に御創建をしました。

御創建により長雨は止み、疫病は収まり、豊作となつて、人々は大いに感謝をしました。この時代、大和国は春日の神領、治めるのは興福寺であったため、若宮は大和国の総鎮守として御創建されました。

江戸時代の終わりまで御本社と若宮は同日に「式年造替」(社殿の建て替え、神宝などを新調する



提供:春日大社(撮影:桑原 英文)

若宮神社

春日大宮(御本社)第三殿と第四殿の神様の御子神様である若宮様が20年に一度の式年造替を終え、鮮やかな朱色と真新しい屋根の檜皮(ひわだ)の茶色が美しい御殿にお戻りになった

こと)を行っていましたが、明治期に国が若宮を撰社の扱いにしたことで、別の日に御造替をするようになりました。それから徐々にずれて20年に一度ではなくなってきました。

どの時代の人々も尽力したのですが、前々回と前回の若宮御造替では38年も開いてしまいました。御造替は、神様にとって一番大切な行事です。自分たちがボロボロの家に住んでいたら、建て替えた

いと思いますよね。それと同じで、私たちを護ってくださる神様のお家であるお社も20年に一度、美しく清浄に建て替えてきたのです。残念ながら、150年程前からそうではなくなりました。若宮御造替を今年より20年に一度の式年制度へとお戻しを致しました。

春日若宮おん祭は、奈良の人々にとって一年の締めくくりの祭です。今年は、美しく御造替された若宮の御殿から、全て新しい松材でできた御旅所の春日若宮おん祭へ遷られる若宮様にも大変お

喜びいただけたと思います。コロナ禍においても(おん祭の)神事は執り行ってきましたが、3年間、お渡り式(行列)ができませんでした。若宮様の御造替の年に、お渡り式もでき、皆さまが今年も無事に過ごせたことと、新年を迎える喜びの祭として、年末の賑わいを迎えることができ嬉しく思います。

若宮は社寺の参道に灯籠を並べる風習の始まりであり、若宮おん祭も日本文化に多くの影響を与えています。松の下式にて影向(ようこう)の松の前では、平安時代末から猿樂が舞い、室町時代には大和猿樂の世阿弥がご奉仕、芸術性を高め能を確立しました。そのため能舞台には春日の影向の松が描かれています。日本文化における松のデ

日本文化に影響を与えている若宮神社

ザインの源流の一つです。最古のことわざ辞典「諺草」には「埒が明く、埒が明かない」の語源は御旅所祭の埒明けの儀と書かれています。また御旅所祭では芝舞台で、8時間に渡る芸能奉納が行われ、芝の上に居て舞い、芝の上に居て観ることから「芝居」との言葉が生まれたとされます。大歴史芸能絵巻の若宮おん祭は、平安時代から途切れることなく続いている祭では日本最大級です。



春日若宮おん祭

平安末期から900年近くの伝統があり国の重要無形民俗文化財に指定。写真はお渡り式(提供:春日大社)

約1300年人々が願った 続けた春日大社

よく、文化や伝統を守っているためにどうしていますか？と聞かれるのですが、「守っていく」ために特別なことはしていません。私たちをご加護してくださいと祈る神様に対して感謝をして、お祭を差し上げるのが神職の勤めです。昔から人々の祈りは、病氣



が治って欲しい、長生きしたい、希望を叶えたい、子どもが幸せに大きくなって欲しいといったもので、1000年前の人も今の人も同じです。人間にとって一番必要なことに対して、人知を超えた力の神様が御護りくださる。あくまでも人々をご加護してくださいと祈る神様に対して、感謝をしてご奉仕続けてきた結果、御造替もおん祭も続いてきました。このことが日本文化と伝統を守ってきたといわれているだけです。

春日大社は約1300年前から、ずっと途切れることなく、多くの人々が必死で祈ってきた場所。一度も衰退することもなく今も栄えているのは、春日の神様の強いお力と、神威の宿る土地であ

るからです。この力に護られている奈良こそ強い力があります。

春日若宮式年造替奉祝記 念の特別展

令和5年1月22日(日)まで、奈良国立博物館で、式年造替記念特別展「春日大社 若宮国宝展―祈りの王朝文化―」が開催中です。92年前に撤下された平安時代の御神宝(国宝)「金鶴及銀樹枝」、国宝「銀鶴及磯形」を人間国宝の桂盛仁氏に復興していただきました。共に2セット制作され、一つは、誰も見ることなく、御造替で若宮様へお戻しをしました。もう一つの全く同じ御神宝は公開されます。平安王朝の究極の美を御覧ください。また、12月23日



(金)から春日大社国宝殿にて、特別展「春日若宮式年造替奉祝杉本博司―春日神霊の御生御蓋山そして江之浦」も開催しています。



人間国宝の桂盛仁氏が復興した国宝「金鶴及銀樹枝」の複製。高さおよそ5cmの金の鶴が銀の枝にとまる優美な姿



提供：春日大社(撮影：大谷 美樹)

春日大社公式サイトやSNSで春日大社の日々の祈りや行事、四季の移ろいなど、旬な情報を発信しています。

春日大社
で検索

特別天然記念物である春日山原始林の 保全再生事業に取り組んでいます

春日山原始林は奈良公園の東に位置し、春日大社の神域として古来より保護されてきました。

市街地に隣接した原始林は、珍しく、学術的に価値が高いことから、昭和30年に特別天然記念物に指定され、平成10年には世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つに登録されました。

奈良県では、春日山原始林の保全再生のため、平成24年に「春日山原始林保全計画検討委員会」を設置しました。

専門家の意見を交えながら、現状の分析や保全方針の検討を行い、平成29年2月には「春日山原始林保全計画」を策定しました。この計画に基づき、春日山原始林



原始林内の種子で育てた苗木の植栽

の保全活動に取り組んでいます。

今年度は、動物の侵入を防ぐ植生保護柵の設置、原始林内で採取した種子から育てた苗木の植栽、外来種ナンキンハゼの伐採等の活動を実施しています。

原始林本来の植生や生態系を守り、古来より保護されてきた原始林を将来に受け継ぐため、これからも取り組みを進めてまいります。

【奈良公園室】



若草山の奥に広がる春日山原始林

古都奈良に早春を告げる「若草山焼き行事」 色鮮やかな炎と花火が夜空を彩ります！

古都奈良の伝統行事、若草山焼き行事を、今年は、1月28日(土)に開催します。

若草山焼き行事は、春日の大地より御神火をもらい受けることから始まります。聖火行列が山麓の野上神社まで御神火を運び、野上神社で若草山焼きの無事を祈願する祭礼が行われます。その後、一斉に点火され、若草山に広がる炎が、澄みきった夜空を赤く染め上げる様子は圧巻です。また、点火直前に打ち上がる花火も見応えがあり、例年多くの方で賑わいを見せています。

**3年ぶりの催しが
盛りだくさんです！**

直近の2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観覧場所を制限し、イベントの規模を縮小して開催しておりましたが、今回の山焼きは、花火も3年前と同規模を予定しており、催しも盛りだくさんです。ぜひ、迫力満点の若

草山焼き行事をお楽しみください。

なお、当日は会場周辺で通行規制が行われます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

若草山焼きは、地元の皆さまをはじめ、点火、消火作業にあたってくださる消防団の皆さまなど、多くの方々のご協力のもと実施しています。若草山焼きを未来へと受け継いでいけるよう、安全に細心の注意を払い、実施してまいります。

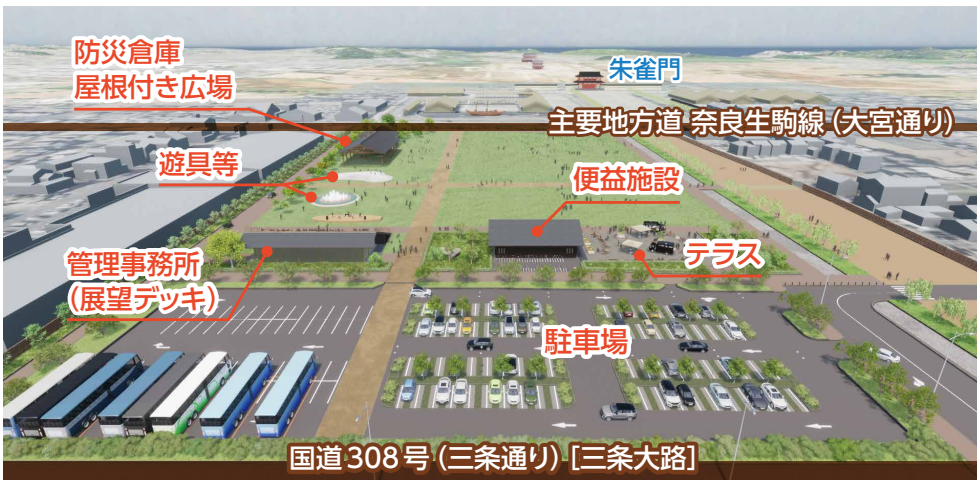
【奈良公園室】

開催期間：令和5年1月28日(土)
開催時間：18時15分頃 花火打ち上げ
18時30分頃 一斉点火
開催場所：若草山一帯ほか
問合せ先：若草山焼き行事実行委員会
☎0742-2718677
若草山焼き
で検索





平城宮跡歴史公園南側地区の場所



整備計画(案)のイメージ図

「平城宮跡歴史公園南側地区 整備計画(案)」に対する意見を募集します。

「平城宮跡歴史公園南側地区」の概要

平城宮跡歴史公園南側地区は、奈良市の中心市街地における東西

幹線道路である大宮通りと三条通りの間に位置しており、観光・交流拠点としてのポテンシャルが極めて高い場所となっています。当地区の利用・整備方針は、令和

2年度に策定した「平城宮跡歴史公園 県営公園区域 基本計画」において、朱雀大路の遺構部分を含む「朱雀大路保全エリア」と、休憩施設や便益施設等を整備する「多目的エリア」に設定して

おり、現在、今後の整備に向けた取り組みを行っています。

「整備計画(案)」について

「平城宮跡歴史公園南側地区 整備計画(案)」は、利用者アンケート、地域住民や小学生によるワークショップにより意見を聴取するとともに、有識者等に幅広い見地からご意見を伺いながら、検討を行ってまいりました。平城京のスケールを実感し、往時の姿をイメージできる歴史空間や、人々が気軽に立ち寄りたくなるような憩いくつるげる空間の創出を目的に公園整備を進める方針です。

「ご意見の募集」

この度、南側地区の公園整備を進めるにあたり、基本的な考え方となる「平城宮跡歴史公園南側地区 整備計画(案)」に対する皆さまからのご意見を募集します。「平城宮跡歴史公園南側地区 整備計画(案)」の概要版は県政情報センター・県立都市公園などの県関係施設で配布するほか、HPからも確認できます。【平城宮跡事業推進室】

皆さまのご意見をお聞かせください。

南側地区整備に関するアンケート

- 内容：平城宮跡歴史公園南側地区整備計画(案)のパブリックコメントを募集します!
- 期間：令和4年12月16日(金)～令和5年1月15日(日)
- URL：<https://www.pref.nara.jp/item/284183.htm>



「みつぎうまし祭り」平城京天平祭・秋」において、平城宮跡歴史公園内を周遊するモビリティを運行しました！

周遊モビリティの運行

10月22日(土)、23日(日)の2日間、奈良市の平城宮跡にて開催された「みつぎうまし祭り」平城京天平祭・秋」において、平城宮跡歴史公園内を周遊するモビリティを運行しました！

今回ご乗車いただいたモビリティは、4人乗りの運転手付き電動カート(LSV-4)および3人乗りの三輪電動アシスト自転車(シクロポリタン)の2種類です。



事前試走の様子



移動手段の多様化を目指して

今回のモビリティの運行は、公園利用者の方々のニーズに合った移動支援の実現性について検証することを目的としたものです。

当日の2日間には、のべ254人の方にご乗車いただき、「歩くには長い距離なので、楽に移動できて良かった」等、たくさんのお声をいただきました。

運転手付き電動カートは「朱雀門ひろば」第一次大極殿」の約1.3kmの区間を運行しました。また、三輪電動アシスト自転車は「朱雀門ひろば」東院庭園」「東院庭園」遺構展示館」の計約2.6kmの区間を運行しました。

今回いただいた皆さまのお声をもとに、引き続き公園内の周遊性向上に向けた検討を進めてまいります。多くのご乗車および多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。【平城宮跡事業推進室】



三輪電動アシスト自転車



運転手付き電動カート

奈良公園をより楽しめる！奈良公園バスターミナルへお越しください

様々なイベントを開催

奈良公園バスターミナルは、奈良公園周辺の交通渋滞の緩和、周遊環境の向上を目的として、平成31年4月に運用開始しました。バスターミナル内の施設においては、観光バスの待ち時間や休憩時間を快適に過ごせるよう、アメニティの充実を図るとともに、奈良公園や周辺地域の歴史・文化を学習できる機能をもたせ、訪れる人がより快適に周遊できる施設を目指しています。



奈良公園バスターミナルでは、ゴールデンウィークにあわせてお子さま向けのイベントや、9月に開催された「きたまちという」のランタン設置等、奈良公園周辺のイベントと連携を図りながら、季節に応じた様々な催しを開催しています。

11月には、奈良大菊人形展を屋上で開催し、今年度は約9千人の方に秋の奈良公園を楽しんでいただきました。関連イベントとして、レクチャーホールでは音楽イベントも実施しました。



(5月)GWお子さま向けイベント
奈良の木で遊ぼう



(9月)きたまちという



(11月)奈良大菊人形展

いつ訪れても楽しめる奈良公園バスターミナルを目指して、この冬にはマルシェや奈良の歴史・文化を学ぶイベントなど新しいイベントを毎月予定しています。また、その他楽しいイベントをどんどん企画していきますので、皆さまぜひお越しください。【奈良公園室】

近日開催予定のイベント

◆奈良の魅力発信映像上映会
開催期間：令和5年1月8日(日)
開催時間：14時〜
開催場所：奈良公園バスターミナル
2階レクチャーホール
要申込、有料

◆奈良公園バスターミナルシェ
開催期間：令和5年1月15日(日)
開催時間：10時〜14時(予定)
開催場所：奈良公園バスターミナル
東棟1階

※今後定期的に開催予定です。
詳細は決定次第、ホームページでお知らせします。

奈良公園バスターミナル で検索



(毎月開催)奈良の魅力発信映像上映会

奈良の魅力を集めた冬のイベント 「大立山まつり2023 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」を開催します！

大立山まつり2023

奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり

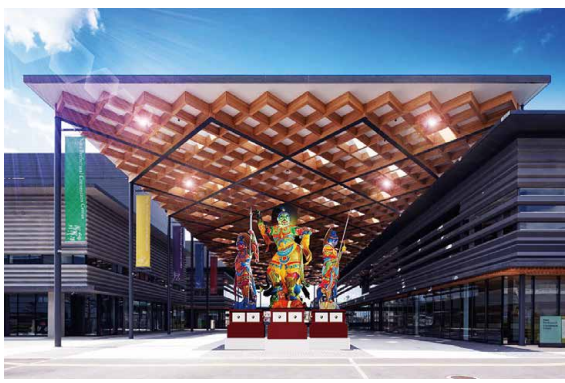
今年で8回目を迎える奈良の魅力を集めた冬のイベント「大立山まつり」。今年度は、令和5年1月28日(土)・29日(日)の2日間の開催を予定しており、メイン会場の奈良県コンベンションセンターと平城宮跡歴史公園会場を繋ぐ、今までにない「大立山まつり」となります。



恒例の大立山と県内各地の立山の展示や古代の正月行事「御齋会」をモチーフとしたセレモニー、伝統行催事等のステージ、地域のあったかいグルメ・特産品の販売というメインコンテンツに加え、奈良の食や食文化を語るシンポジウ



古代の正月行事「御齋会」をモチーフとしたセレモニーを披露します。
(今年度は奈良県コンベンションセンターにて実施予定)



四天王が4体そろうのは、年に1度、この2日間だけです！

ムや奈良の歴史・文化を学べる体験型コンテンツなど、盛りだくさんの内容をご用意します。

今年のまつりのみどころ

今回の大立山まつりには、好評いただいた「あったかもんぐらんぷり」が、「超！あったかもんぐらんぷり」として帰ってきます。県内市町村自慢のあったかもんでお腹と心を満たしていただいたら、あなたの「押し」に投票し、応援してください。



また、奈良の歴史や文化を、アバターを活用して学べる体験型コンテンツや、クイズ形式のパネル展示等大人から子どもまで楽しんでいただけるコンテンツも予定しています。

大立山まつりをおして、奈良県を新発見・再発見いただき、県内各地を訪れるきっかけとなれば、と考えております。

皆さまのご来場お待ちしております。
【ならの観光力向上課】



開催期間：令和5年1月28日(土)・29日(日)

開催時間：28日 11時～18時
29日 11時～18時

開催場所：奈良県コンベンションセンター、平城宮跡歴史公園

問合せ先：奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会事務局
☎0742-2718974

入場無料(飲食・体験等は一部有料)
近鉄新大宮駅より徒歩10分(駐車場はありませんが、公共交通機関でお越しください)
ツイッター、インスタグラム、フェイスブックでも情報発信中

ほぐほぐまつり で検索

しあわせ回廊なら瑠璃絵 春日大社・興福寺・東大寺を巡る旅

繋げる想い、つながる光
奈良の夜に誘う安寧の輝き

奈良を代表する三社寺(春日大社・興福寺・東大寺)を幻想的な光の回廊でつなぐ「しあわせ回廊なら瑠璃絵」が今年も開催されます。開催期間は、2月8日(水)～14日(火)までの7日間で、18時から21時まで点灯しています。「しあわせ回廊なら瑠璃絵」では、至上の色として神聖視されてきた瑠璃色



の光の道が皆さまを「しあわせ」へと案内します。三社寺では、境内をライトアップしており、それに併せて夜間特別拝観が実施されます。

その他にも、開催期間中は見逃せないイベントが盛りだくさんです。奈良公園の誕生日をお祝いするリースデー花火(2月14日)や冬七夕ロードの実施、しあわせココアの販売など、皆さまを「しあわせ」へ案内するイベントが用意されていますので、イルミネーションとあわせて、ぜひお楽しみください。皆さまのお越しをお待ちしております。

【奈良公園室】

開催期間：令和5年2月8日(水)～2月14日(火)
開催時間：夜間特別拝観 17時～20時
点灯時間：18時～21時
開催場所：奈良公園帯 春日大社・興福寺・東大寺
問合せ先：なら瑠璃絵実行委員会
☎07422010214
なら瑠璃絵 で検索
入場無料(一部有料会場あり)

冬の彩り 大宮通り イルミネーション

冬期に奈良県を訪れる観光客への「おもてなし」として、今年度も大宮通りでイルミネーションを実施しています。

恒例の「冬の彩り」をお楽しみください。

【道路保全課】

開催期間：令和4年11月24日(木)～令和5年3月14日(火)
点灯区間：国道369号
奈良中央郵便局前交差点～高天交差点

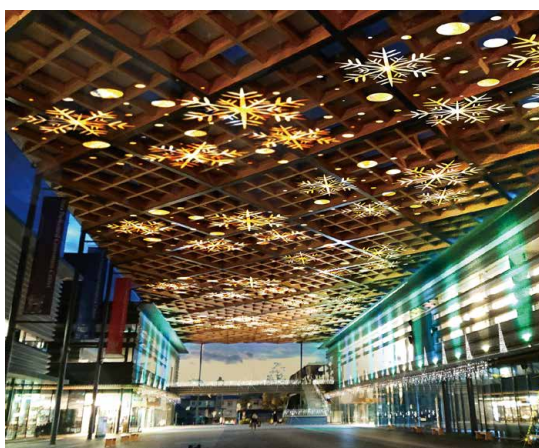


光と遊びの 天平広場・冬を開催

奈良県コンベンションセンターで、「光と遊びの天平広場・冬」を開催いたします。

白やゴールドを基調とした色彩の照明演出により冬を表現した光の天平広場をぜひお楽しみください。

【MICE推進室】



開催期間：令和4年12月7日(水)～令和5年1月9日(月)
点灯時間：16時～22時
開催場所：奈良県コンベンションセンター天平広場



アプリ「スマホで巡礼」を利用すると、「祈りの回廊2022」春夏版と秋冬版パンフレットで紹介している各社寺や観光スポットを巡った記録を残すことができます。

スマートフォンにアプリをダウンロードして、社寺や観光スポットを訪問し、アプリを起動すると自動的にチェックインします。

1カ所チェックインすると10ポイントがたまり、50ポイントためた上

「祈りの回廊」県内の社寺を スマホで巡ってみませんか？

「祈りの回廊」アプリ 「スマホで巡礼」

でアンケートにお答えいただくと、抽選でオリジナル御朱印帳またはクリアファイルをプレゼントいたします。【観光プロモーション課】



祈りの回廊オリジナルクリアファイル
※イラストはイメージです。

祈りの回廊アプリ スマホで巡礼

※ダウンロード無料

※「App store」「google play」からダウンロードご利用ください。

開催期間：令和5年2月28日(火)

問合せ先：奈良県観光プロモーション課

☎074212718482

(平日8時30分～17時15分)

祈りの回廊で検索

大宮通りジャーナルマップ

イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
冬の彩り 大宮通りイルミネーション	令和4年11月24日(木) ~ 令和5年3月14日(火)	国道369号 奈良中央郵便局前~高天交差点	奈良県 県土マネジメント部 道路保全課 保全計画係 ☎0742-27-7512	無料
光と遊びの天平広場・冬イルミネーション	令和4年12月7日(水)~ 令和5年1月9日(月・祝)	奈良県コンベンションセンター 天平広場	光と遊びの天平広場事務局 ☎070-2395-6032	無料
若草山焼き行事	令和5年1月28日(土)	若草山一帯ほか	若草山焼き行事実行委員会 ☎0742-27-8677	無料
大立山まつり2023 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり	令和5年1月28日(土)・29日(日)	奈良県コンベンションセンター、 平城宮跡歴史公園	奈良県冬季誘客イベント 「大立山まつり」実行委員会事務局 ☎0742-27-8974	入場無料 (一部有料)
しあわせ回廊なら瑠璃絵	令和5年2月8日(水)~ 14日(火)	奈良公園一帯 春日大社・興福寺・東大寺ほか	なら瑠璃絵実行委員会 ☎0742-20-0214	入場無料 (一部有料)
平城京天平祭・春	令和5年5月上旬(予定)	平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	入場無料 (一部有料)

●掲載されているイベントなどの内容は本ジャーナル発行時点のものです。今般の感染症の流行とそれに伴う社会情勢を受け、開催が中止・延期・変更となる場合があります。それぞれの問い合わせ先へご確認ください。

「ぐるっとバス」ルートマップ

・2022年12月時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響により、運行ダイヤを変更する可能性があります。
 ・イベント等で運休する場合がありますので、詳しい運行日は、〈HP「奈良公園・平城宮跡」アクセスナビ〉をご確認ください。

ぐるっとバス

- バス路線
- 大宮通りルート(毎日運行)
- 奈良公園ルート(土日祝運行)
- 若草山麓ルート(土日祝運行)

乗車運賃
1乗車
100円
(小学生以上)

※「ぐるっとバス」の詳しい運行情報やルートについては、
 〈HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」〉をご覧ください。
<http://www.nara-access-navi.com/>

〈ぐるっとバスNAVI〉
 ぐるっとバスの位置情報がリアルタイムで確認できる

大宮通りジャーナル 冬号 (第17号) 2022年12月発行

発行 奈良県
 編集 県土マネジメント部地域デザイン推進局
 平城宮跡事業推進室

●各事業に関するお問い合わせ
 平城宮跡事業推進室 Tel.0742-27-8973
 道路保全課 Tel.0742-27-7512
 観光プロモーション課 Tel.0742-27-8482

奈良公園室 Tel.0742-27-8036
 MICE 推進室 Tel.0742-27-8479
 ならの観光力向上課 Tel.0742-27-8974

観光振興と地域づくりのモデルとして各種プロジェクトが進行している「大宮通り」について、沿道の住民の皆さまや商業者等の関係者様と、課題をともに考え、意見を交換し、共有するためのプラットフォームとして本誌を発行・配布しています。